



# OWANI

2023→2032  
第6次大鰐町振興計画 概要版

## 町長あいさつ



近年は、全国的な人口減少・少子高齢化の進行に加え、新型コロナウイルス感染症に対する新しい生活様式への変化、原油・エネルギー価格その他物価の高騰などにより、これまで経験したことのない時代への転換期を迎えています。

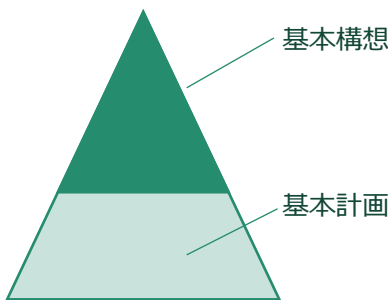
このような厳しい社会経済情勢の中にあっても、未来に希望を持つことができるまちづくりを町民の皆さまとともに推進し、本町が将来にわたって持続的な成長を維持していくために、令和5年度からの町政運営の指針として、第6次大鰐町振興計画を策定いたしました。

本計画では、「わになって みんなポカポカ 大鰐町」をまちの将来像に掲げ、その実現を図るために5つの横断取組みと、5つの基本方針を定めております。町の未来のため、一人ひとりが繋がり大きな輪になることで、町民の皆さまに「温かい」と感じていただけるよう、そして「住みたい、住み続けたい」と思ってもらえるようなまちづくりを進めてまいります。

令和5年3月  
大鰐町長 山田年伸



# 振興計画とは



## 計画の目的と役割

- 振興計画は全ての計画や事業を推進するための「まちづくりの指針」
- 「目指すまちの姿」を明確にすることで、協力してまちづくりに取り組みやすくする

## 計画の期間と構成

- 計画期間は 2023 (令和 5) 年度から 2032 (令和 14) 年度までの 10 年間
- 振興計画は基本構想 (将来像と基本方針) と基本計画で構成

計画期間	令和 (年度)	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
	西暦	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032
	基本構想	10 年間									
	基本計画	10 年間 (必要に応じて見直し)									

# 社会背景

気候変動への対応や公平な社会の実現を目指し、世界が共通の目標を掲げています。また、我が国においては、少子高齢化や人口減少の抑制と対応が引き続き課題であり、「人材育成」「デジタル化の推進」「グリーンインフラの活用」が政策の柱となっています。

予測困難な時代	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 気候変動</li> <li>● デジタル化・国際化の進展</li> </ul>	
世界共通の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 脱炭素社会の実現(2050年)</li> <li>● SDG s の達成(2030年)</li> </ul>	
国の政策	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人材育成</li> <li>● デジタル化の推進</li> <li>● グリーンインフラ※の活用</li> </ul>	

**課題**  
少子高齢化・人口減少の抑制と対応

※グリーンインフラ=自然が有する機能を社会資本整備やまちづくりに活用する取組

## まちづくりの方向性

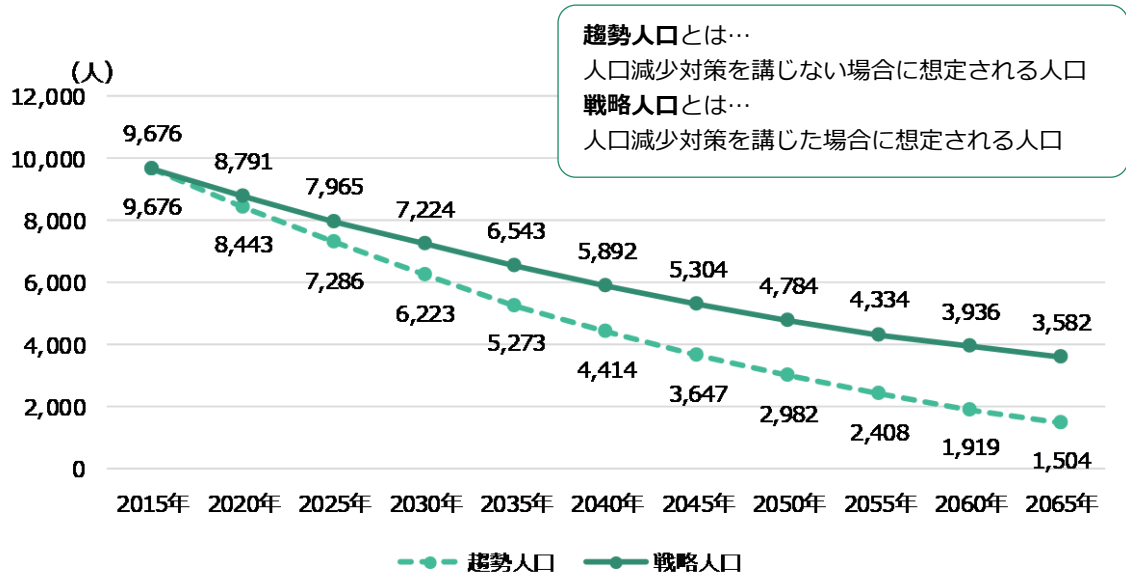


図 将来人口（趨勢人口と戦略人口）

〔資料：大鰐町人口ビジョン改訂版〕

大鰐町の総人口は減少傾向が続き、世帯の少人数化が進んでいます。このような「町の現況」や「社会背景」、行政における「施策評価」や「住民の声」をふまえて、「まち・ひと・しごと創生 第2期大鰐町総合戦略」に沿って、長期的な課題及び主要なまちづくりの方向性を次のとおりとし、計画を策定しました。

### 課題

- ・ 地域共生社会の実現
- ・ 定住促進
- ・ まちの磨き上げ

人口はまちの活力！  
10年後も  
総人口7,000人以上を  
キープしたい！



## まちづくりの方向性

1

「住み続けたい」  
まちづくり

2

子供が  
のびのび成長でき、  
子育てしやすい  
環境づくり

3

ふるさと  
「わがまち」づくり

## 基本構想と計画の体系

- ①**基本理念**は、今後 10 年間に於いて全ての町民が「安全・安心」に「健やか」で「心豊か」な暮らしができるまちを目指すこととし、この計画の基本理念として「地域共生社会の実現」を位置づけました。

①基本理念

### 「地域共生社会の実現」

②まちの将来像

## わになって みんなポカポカ 大鰐町

③基本方針

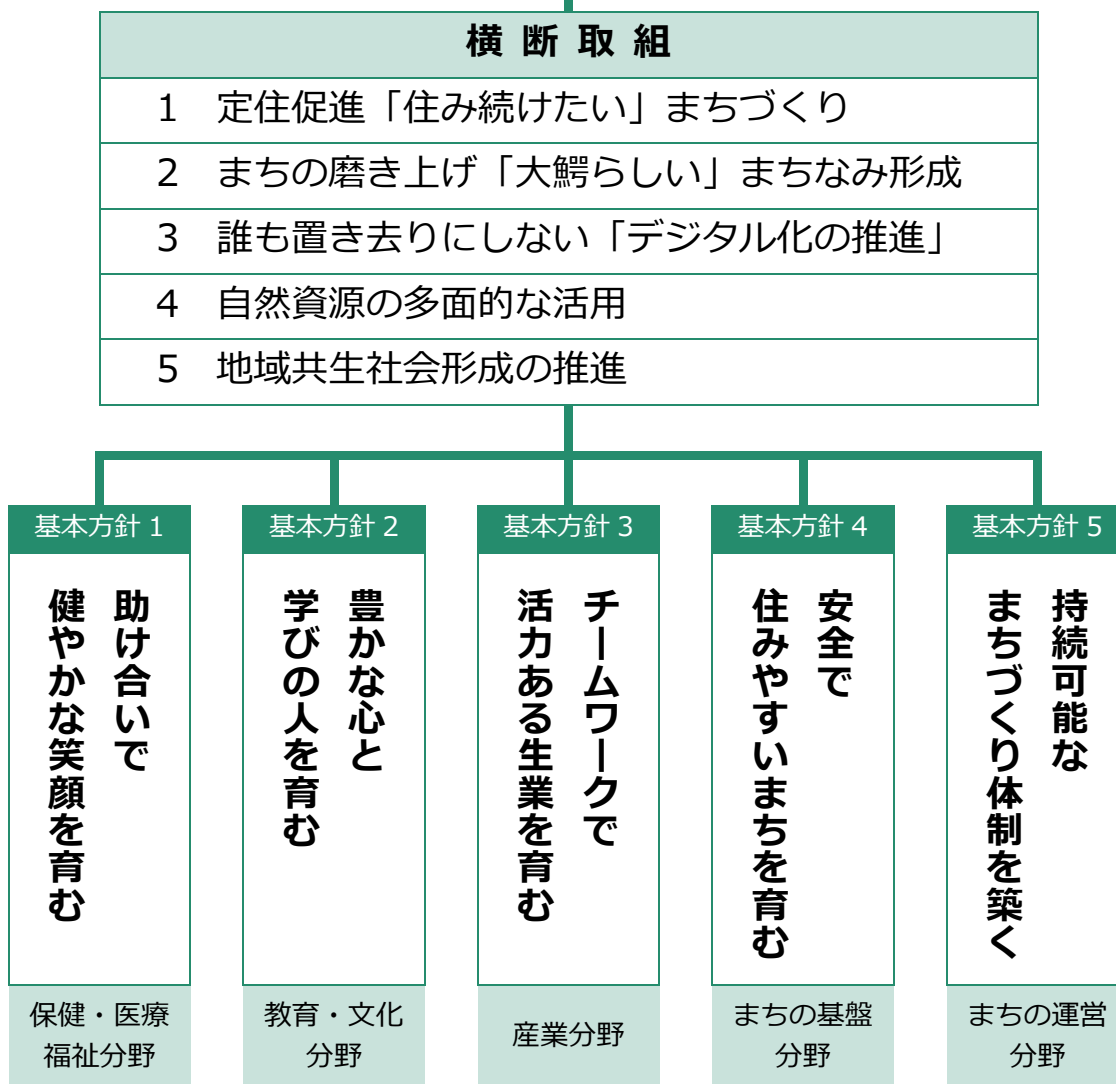


図 基本構想図（将来像と基本方針）

②**将来像**は、住民ワークショップで提案された「みんながポカポカ大鰐町 みんなが連携し、潤い、温まる町」をもとに協議を重ね決定しました。それぞれの言葉には次の意味を込めました。地域共生社会の実現した状態を端的に表した言葉です。

## わになって

“わ”になる。「輪」「和」の意味を含みつつ、「鰐」の音にもかけた。町の未来のために、一人ひとりが繋がって輪になろう、という想いを表わしている。

## みんな

誰ひとり置き去りにしないというSDGsの思想と、他人まかせではなく官民ともという協働の思想を表している。

## ポカポカ

ポカポカは「潤う」や「温まる」を象徴する。町の資源である温泉やスキー等スポーツの熱、農業等経済活動が潤沢に循環すること、人の心などを表している。

### ③基本方針

**横断取組**は、地域共生社会の実現を基本理念として、各分野単位ではなく、分野横断的に全庁が連携し、かつ地域や住民と行政が協働で推進していきたい取組です。将来像の実現に向け、この10年間で優先的に取り組みたい目標でもあります。

**分野ごとの基本方針**は、将来像「わになって みんなポカポカ 大鰐町」を実現するために必要な取組の柱です。「みんなポカポカ」するような「地域共生社会の実現」に向かい、各分野でどのような状態を目指していくのかを示しています。

前計画では、「みんな わになる」こと、官民連携や協働の実現を目指してきたよ



この計画では、「わになった」その先で実現したいこと、「みんな」の協働で「みんな」が「ポカポカ」になるまちを目指そう！という目標にしたんだ

## 横断取組

### 横断 1 定住促進「住み続けたい」まちづくり

主な関連分野：商工業、子育て支援、教育

住み続けたいまちを目指し、第2期大鰐町総合戦略で提案する「まち・ひと・しごと」創生の取組を推進します。子供から大人まで、住民が地元への理解を深め、愛着を持ち続けることができるよう情報発信に努めます。住民アンケートで要望が多かった「子育て支援」を中心に、暮らしやすさ・働きやすさの向上を図ります。

### 横断 2 まちの磨き上げ「大鰐らしい」まちなみ形成

主な関連分野：建設、住環境、観光・商工業

観光に値する「温泉街」としての特色が目に見え、分かりやすくなるような景観の向上と環境美化に努めます。同時に、住民の生活満足度の向上に資することを根本目的として、歩きたくなるような「にぎわい」醸成や観光資源の魅力向上を推進します。

### 横断 3 誰も置き去りにしない「デジタル化」の推進

主な関連分野：情報化、行財政、交通、防災、住環境

行政が率先して業務のデジタル化に取り組み、事務処理の効率化や行政サービスの質の向上に努めます。地域公共交通や防災等、住民の生活利便性や安全性に直結する分野において優先的にデジタル化を推進します。「誰も置き去りにしない」デジタル化に向け、利用者の取りこぼしが無いよう配慮します。

### 横断 4 自然資源の多面的な活用

主な関連分野：住環境、農林業、教育

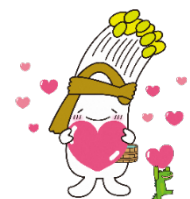
環境問題やグリーンインフラへの理解を深めるため、学校教育や生涯学習を通じ住民の意識啓発に努めます。地域再生可能エネルギーを地域づくりに活かすことはできないか検討するとともに、グリーンツーリズム等現存する森林資源の利活用を促進します。

### 横断 5 地域共生社会形成の推進

主な関連分野：地域福祉、高齢者福祉、障がい者福祉、生涯学習、防災

「自立」とは「頼る先を多く持つことである」の視点にたち、生涯しあわせに暮らすことができる地域共生社会の実現に向けた取組を推進します。自助・共助・公助が相互に適切に作用するよう、行政サービスの充実と合わせ、住民の意識啓発や参加を促進します。

「地域共生社会」とは、行政だけでなく、地域住民や地域の多様な主体がまちづくりに参画し、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会だよ！



# 基本方針と基本計画

## 基本方針 1 助け合いで健やかな笑顔を育む

【分野】保健・医療・福祉

- 切れ目のない子育て支援に注力しながら、寿命とともに健康寿命の延伸を目指す
- 適切な医療を受けられるようにし、健康な身体を保つ
- なんらかの病気や障害がある状態になったとしても、安心して社会生活を送ることができるようにする

基本計画	部門
1-1 子育て支援体制の充実	子育て支援
1-2 住民みんなの生涯健康づくり	保健・医療
1-3 高齢者福祉の充実と社会参加促進	高齢者福祉
1-4 誰もが幸せに生活できる障がい者福祉の充実	障がい者福祉

## 基本方針 2 豊かな心と学びの人を育む

【分野】教育・文化

- 一人ひとりを大切にするきめ細かな教育を推進する
- 子供も大人も生き生きと学び、スポーツに親しむことができる環境を整備する
- 文化の保存や交流を促進する取組により、町への愛着の醸成につなげる

基本計画	部門
2-1 幼児教育・学校教育の充実	学校教育
2-2 生涯学習・スポーツの振興	生涯学習・スポーツ
2-3 芸術・文化振興と多彩な交流活動の展開	芸術・文化

スキー場・温泉・食・  
自然景観・人が町の特長だ！  
と考える人が多かったよ



ワークショップなどでは  
●町の特長を組み合わせ  
活用すること  
●近隣市町村との連携・PR  
●町民の話し合い（まちづくり  
への参加）などが必要では  
ないかという意見があったよ



## 基本方針 3 チームワークで活力ある生業を育む

【分野】産業

- 作業の省力化や効率化、高収益化を実現する「稼げる農業」の確立を目指す
- 国をあげたデジタル化の推進を追い風として、労働力確保の支援など農業を持続可能にする取組を推進する
- グリーンインフラ活用の政策にのっとり、まちの様々な産業が連携する

基本計画	部門
3-1 チームワークによる農林業振興	農林業
3-2 地場産業育成と商工業の振興	商工業
3-3 観光・レクリエーションの振興	観光業

## 基本方針 4 安全で住みやすいまちを育む

【分野】まちの基盤

- 町民の身体や生命・財産を守るため、防災対策や減災対策に取り組む
- 町民との協働のもと、地域の実情に応じた地域防災力や防災機能向上を図る
- 犯罪や交通事故が発生しにくい環境づくりを進める
- 道路や上下水道など生活基盤の維持・向上に努める

基本計画	部門
4-1 防災・備災の強化	防災
4-2 資源循環型まちづくりの推進	環境保全
4-3 人と車にやさしい交通の確保	道路・交通
4-4 住・生活環境の充実	建設・住環境

## 基本方針 5 持続可能なまちづくり体制を築く

【分野】まちの運営体制

- 個人や地域団体、企業など様々な主体との協働を試みる

基本計画	部門
5-1 協働によるまちづくり	住民参加
5-2 財政健全化と持続可能な行財政の運営	行財政運営

編集：大鰐町企画観光課

住所：青森県南津軽郡大鰐町大字大鰐字羽黒館5番地3

電話：0172-48-2111（代表）